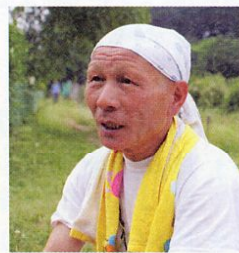




ただ今、実践中! 歩育の現場を歩く

埼玉県の狭山市に、子どもたちがスリーデーやツーデーマーチに参加する幼稚園があると聞いた。5歳前後の園児が、20キロを完歩する。いったいどんな幼稚園なんだろう？そこで、月1回行なっている足腰鍛錬のハイキングに同行取材させてもらうべく、ある晴れた6月の一日に『風の森狭山台みどり幼稚園』を訪れた。



田島昭雄(たじまあきお)さん
学校法人・田島学園 学園長、社会福祉法人・風の会 理事長。30年前から積極的に「歩き」を取り入れる独自の教育方針で地元の父母から熱い支持を集める。

6:50 お母さんと一緒に子どもたちが幼稚園に次々と到着。背負った体の三分の1ぐらいの大きさのリュックに振り回されているような子どもも。それでもキラキラと目は期待に満ちて輝いている。

「この幼稚園に通うようになってから、確実に体が丈夫になりました。とにかく『疲れた』といわなくなりましたね」とは園児のお母さんの1人。

今日集まったのは5、6歳の年長さん、山組と空組の園児合わせて57名。学園長の田島先生を含め4人の先生が引率する。

7:15 園の庭に集合して、朝の挨拶と今日のコースの説明。バス

に乗り込む。「運転手さん、よろしくおねがいします」と声を揃えて挨拶。バスの中では歌合戦。元気な歌声が車内に響き渡る。

8:00 バスを降り、山道の入り口へ。今日登るのは日和田山、物見山、北向き地蔵からユガテという約8キロのコース。まずはトイレ休憩と準備運動。

8:15 登り始めて間もなく、男坂に差しかかる。大きな岩と木の根が絡み合う急勾配。ハイキングというよりはほとんどロッククライミングのような岩場、我々が予想もしなかったような難所だ。ところが子どもたちは真剣な顔で岩

によじ登る。岩崎先生が「よし、

自分で足場を探して。そうそう。ツメを立てて、重心を前にもってくるんだ。そうすれば落ちないから」と励ます。横で見つめながら、ぎりぎりまで手は出さない。

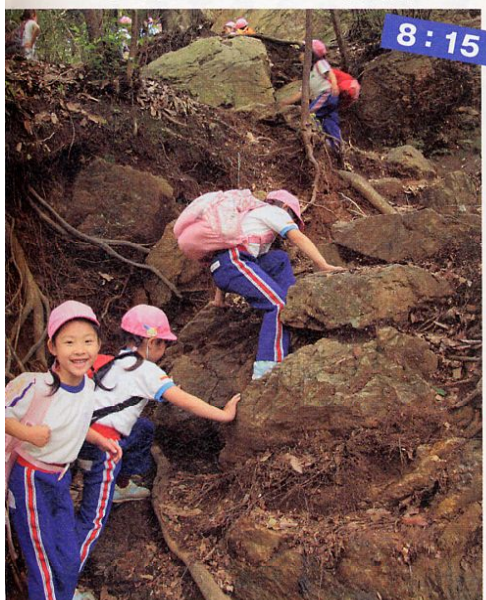
9:05 小柄な女の園児の「できると思ってたやたら本当にできた」という呟きが印象的だった。山の中腹でひと休み。先生たちがみんなに飴を配る。最高の景色と気持ちのいい風。10分休んでまた歩き始める。男坂を越えてしまえば、普通の山道は楽々。

11:15 北向き地蔵の小さな祠にお参り。途中2度ほど小休止や体操、崖のぼりなどの遊びを入

れる。



①登山道の入口でたっぷり準備体操



②最大の難所「男坂」も笑顔で踏破
③険しい岩場をクリアした後はスイスイ

